令和３年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修　研修レポート抜粋

（誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります）

県央会場

科目　⑭安全対策・緊急時対応

◆　日々の業務の中で、子どもたちの安全には十分に配慮しているつもりでいますが、他の支援員がチェックしているだろうという思い込みや、共有が不十分なところがあると思います。事故防止策として禁止にしてしまえば事故はなくなるかもしれませんが、何でも禁止にしてしまうと学童クラブとしての活動に魅力が失われてしまいます。児童と一緒にルールづくりをして、バランスを取っていくことが大事だと思います。

◆　私は東日本大震災のときに宮城にいて、実際に震災を経験し、今いる学童クラブでその経験を基に避難訓練時に話をしますが、きちんと話を聞いている子が少なく、伝える難しさを感じていました。今回、防災についてのマンガや本を置いて伝えるという方法を教えていただき、こんな方法もあるのだと思いました。また、遊ぶ前に子どもたちと一緒に点検をする「危険な所探しゲーム」もとてもいいアイディアだと思い、今後実践してみたいと思いました。

◆　本科目では安全対策・緊急時対応のあり方と具体的な取組の内容について、知っておくべき法令等について学んだ。また、安全対策及び緊急時対応における計画策定の必要性とそのマニュアルの作成、年２回以上の訓練を行い、支援員間だけでなく子どもたちも正しい知識と行動を学べるようにすることの重要性を理解することができた。あらゆる場面を想定し、広い視野で子どもたちを危険から守れるように対策していきたい。

◆　事故防止のための実践として、子どもたちを理解し、問題事項を把握し働きかける、職員の情報の共有が大切と思われました。また、子どもの事故防止活動として安全管理に気をつけていくとともに、子ども自身が自らの安全を守るために危険回避能力を身に付けることも大切と思われました。今後、日常生活の中で、子どもたちに対し安全に遊べるよう指導していかなければならないと思いました。

◆　今回の研修で学んだことは、安全指導キーワードの内容です。「３つの眼」という言葉がとても印象的でした。実際に勤務するなかでこの「３つの眼」を実践していこうと思います。避難訓練で不審者侵入対策を行っていると知り、とても必要なことだと思いました。いつ不審者がくるか分からないので、子どもたち、支援員たちを守るために、ぜひ職場で提案して新たに避難訓練をやっていきたいと思いました。